

Misawa 三沢 Atsuhiko 厚彦 ANIMALS



(Animal 2020-03) 2020年
©Misawa Atsuhiko
Courtesy of Nishimura Gallery
Photo by Misawa Atsuhiko

Multi-Dimensions

2023.6.10 sat – 9.10 sun 千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

休室日: 6月12日(月)、19日(月)、26日(月)、7月3日(月)、10日(月)、18日(火)、8月7日(月)、21日(月)、9月4日(月) (第1月曜日は全館休館)

開館時間: 10:00–18:00 (金、土曜日は20:00まで) ※入場受付は閉館の30分前まで 主催: 千葉市美術館 協力: 西村画廊、アニマルハウス、山口製材株式会社

観覧料: 一般1,200円(960円)、大学生700円(560円)、小・中学生、高校生無料 ※障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料 ※()内は前売り、市内在住65歳以上の方の料金

※前売り券は、ミュージアムショップまたはローソンチケット(Lコード: 31188)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて6月9日まで販売(6月10日以降は当日券販売)

※リピーター割引: 本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額 ※ナイトミュージアム割引: 金・土曜日の18:00以降は観覧料半額

※割引の併用はできません。 ※本展チケットで、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

三沢厚彦 ANIMALS Multi-dimensions

キメラのことを考えていると、多次元の存在を感じる瞬間がありそうだ。 — 三沢厚彦

2023.6.10 Sat. — 9.10 Sun.

KEYWORD
① ANIMALS
アニマルズ



《Animal 2012-01》
2012年
Photo by Kato Ken



《Painting 2022-10》2022年
Photo by Okano Kei



《Animal 2022-03》
2022年



《Animal 2018-03》
2018年



《Painting 2022-03》2022年
Photo by Okano Kei

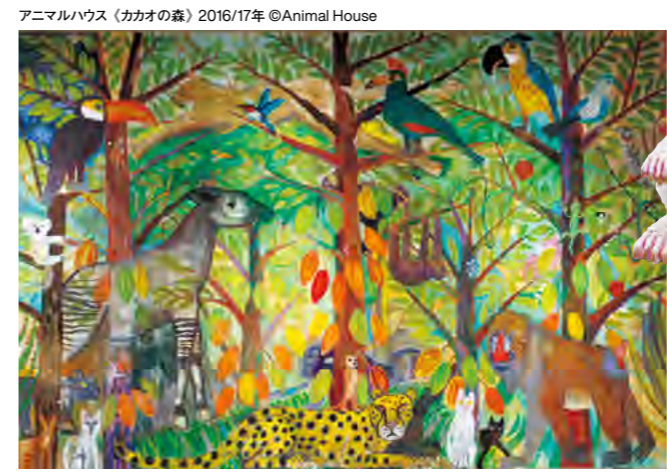


《Animal 2015-06》
2015年
Photo by Watanabe Ikuhiro



《Animal 2011-01》2011年
Photo by Uchida Yoshitaka

KEYWORD
② Animal House
アニマルハウス



アニマルハウス〈カカオの森〉2016/17年 ©Animal House

アニマルハウス—2017年に渋谷区立松涛美術館で開催された「三沢厚彦 アニマルハウス 謎の館」展以降、国内各所で展開されている。メンバーは舟越桂、小林正人、杉戸洋、浅田政志、三沢厚彦の5名。



《animal-C White Rabbit》
2023年 個人蔵
Photo by Okano Kei

KEYWORD
⑤ Multi-dimensions
多次元

KEYWORD
④ Kolojido Tomp
コロイドトンプ



《コロイドトンプ（ヒトウマ）》
1998年

KEYWORD
⑦ Vibration
(Sounds and Waves)
ヴァイブレーション
(音・波)



《Bird 2018-02》
2018年

KEYWORD
⑧ Sculpture and Architecture
彫刻と建築



《Strut 2020-06》2020年

KEYWORD
③ Chimera
キメラ



《Painting 2022-32》
2022年



《Animal 2018-01》
2018年
Photo by Onuma Shoji

KEYWORD
⑥ Synchronicity
シンクロニシティ

三沢厚彦が誘う彫刻の「多次元」世界

三沢厚彦(1961-)は動物を棒で彫り、油絵具で彩色する「ANIMALS (アニマルズ)」シリーズで知られる日本を代表する彫刻家です。京都で生まれ育ち、幼い頃から仏像や寺社に親しんだ三沢は、東京藝術大学および同大学院で彫刻を学び、1990年代に流木などを寄せ集めて制作された「コロイドトンプ」シリーズで注目を浴びます。人間の想像力への関心から、2000年より始められた「ANIMALS」は、動物のリアリティを追求していく革新的な造形が高く評価され、全国各地で多くの人々を虜にしてきました。

「三沢厚彦 ANIMALS/Multi-dimensions」は、三沢による千葉県初となる個展です。本展では「多次元」をテーマに、大谷幸夫の設計による千葉市美術館すべてが展示会場となります。そこに棲んでいたかのように親しみやすく、時にどう猛な動物たちに、来場者はさまざまな場所で遭遇することでしょう。この場所だけでしか体験できないサイト・スペシフィックな展示方法もまた、作品と空間の関係への作家独自の思考を示しています。1990年代の初期未発表作から最新作まで、200点を超える彫刻と絵画により、当館の建築物にアプローチしていきます。

21世紀に入り、木彫による具象彫刻、さらには現代アートの分野を牽引してきた三沢は、近年では空想上の生き物である麒麟やキメラといった複数の動物のイメージを組み合わせる表現に発展し、大型の木彫を精力的に制作しています。時空を軽やかに飛び越え、現代の私たちの前にあらわれるキメラたちは、その眼差しでいまの世界を見つめ、何を語るのでしょうか。会期中には、作家の滞り制作も予定されています。三沢のキメラ的思想によって、生が吹き込まれていく本展をぜひお楽しみ下さい。

三沢厚彦 | Misawa Atsuhiko
1961年京都府生まれ。幼少期から京都や奈良の仏像に親しむ中で、彫刻の魅力に惹かれ、彫刻家を志す。高校、大学と彫刻科で学び、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻を修了。小学生の頃からポピュラーミュージックにも親しみ、音楽に対する造詣も深い。2000年に動物の姿を等身大で彫った木彫「ANIMALS」シリーズの制作を開始。同年より西村画廊(東京)で個展開催。2007年から「三沢厚彦 ANIMALS+」展が平塚市美術館を皮切りに全国5会場を巡回。その後も現在まで各地の美術館で個展を多数開催。主な受賞歴に2001年第20回平塚田中賞受賞。2005年第15回タカシマヤ美術賞受賞。2019年第41回中原偉二郎賞受賞。現在、神奈川県在住。武蔵野美術大学造形学部彫刻学科特任教授。



作品画像：©Misawa Atsuhiko Courtesy of Nishimura Gallery

展覧会関連イベント

事前申込制イベントの詳細や申込方法は、美術館ホームページをご覧ください。

作家によるギャラリートーク (事前申込制)

出演：三沢厚彦

① 6月25日(日) ② 8月13日(日)

いずれも18:00~19:00

8階展示室にて／定員30名／① 6月7日(水) 申込締切・② 7月26日(水) 申込締切／聴講無料(要展覧会チケット)

作家による滞在制作

不定期開催／7階展示室にて(要展覧会チケット)

山本精一ライブ (事前申込制)

① 7月30日(日) | Acoustic Evening

② 7月31日(月) | Electric Evening

いずれも16:30~17:30 (16:00開場予定)

7階展示室にて／定員40名／①②ともに7月12日(水) 申込締切／参加無料(要展覧会チケット)

ワークショップ

「樟で動物を彫ってみよう」(事前申込制)

講師：三沢厚彦

8月26日(土)、27日(日) 10:30~16:30

5階ワークショップルームにて／定員10名／対象：高校生以上・両日とも参加できる方／8月16日(水) 申込締切／要参加費

千葉交響楽団メンバーによるコンサート

8月11日(金・祝) 11:00~ (10:30開場予定)

1階さや堂ホールにて／先着80名(当日10:00より1階にて入場券販売)／入場料=1,000円(高校生以下500円)

市民美術講座「三沢厚彦の『多次元』世界—ANIMALSからカメラへ」

講師：森啓輔(当館学芸員)

7月22日(土) 14:00~15:30 (13:30開場予定)

11階講堂にて／先着80名(当日12:00より1階にて整理券配布)／聴講無料

みんなで!どうぶつデー

8月19日(土) 10:00~15:00 (定員に達し次第終了)

子どもから大人までみんなで参加できる、動物にまつわる謎解きゲームやワークショップを開催します。

担当学芸員によるショートレクチャー

6月14日(水)、8月15日(火) 14:00~14:30

7月15日(土) 17:30~18:00

1階多目的室にて／先着30名程度／参加無料

美術館ボランティアスタッフによるギャラリートーク

6月14日(水)をのぞく会期中の毎週水曜日

14:00~14:30

8階展示室にて／先着15名程度(当日13:30より8階受付にて整理券配布)／参加無料(要展覧会チケット)

※水曜日以外の14:00にも開催することがあります。

※混雑時には中止する場合があります。

託児サービスデー (事前申込制)

7月22日(土)、8月15日(火) 13:00~16:00

同時開催

4階子どもアトリエ

「つくりかけラボ12

三沢厚彦 | コネクションズ 空洞をうめる」

2023年7月14日(金)~10月15日(日)

休室日 | 8月7日(月)、9月4日(月)、10月2日(月)

観覧料 | 無料

「つくりかけラボ」は、「五感でたのしむ」「素材にふれる」「コミュニケーションがはじまる」いずれかのテーマに沿った公開制作やワークショップを通して空間を作り上げていく、参加・体験型のアーティストプロジェクトです。第12弾では、彫刻家の三沢厚彦がゲストとともに、千葉の街から着想を得たプロジェクトを展開していきます。

5階常設展示室

「千葉市美術館コレクション選」

動物をテーマとした近世、近代のコレクションや、詩人・北園克衛の写真による作品、画家・小林正人の絵画を紹介します。

「特集 北園克衛」2023年4月5日(水)~7月2日(日)／

「特集 小林正人」2023年7月5日(水)~10月1日(日)

休室日 | 第1月曜日

※「三沢厚彦 ANIMALS / Multi-dimensions」展をご観覧の方は無料

4階子どもアトリエ

「つくりかけラボ11 金田実生 | 線の王国」

2023年4月17日(月)~7月2日(日)

休室日 | 第1月曜日

観覧料 | 無料

「ANIMALS」関連グッズ

彫刻家 三沢厚彦の人気作品

「ANIMALS」初のフィギュア化!

海洋堂のフィギュアシリーズ第2弾(トラ)を企画展覧会の会期に合わせ、先行販売します。

三沢厚彦 ANIMALS トラ

ホワイト／ゴールド／ピンク：29,700円(税込)

三沢厚彦 ANIMALS クマ

スピリットベア／ツキノワグマ：19,800円(税込)

三沢厚彦 ANIMALS figure collection (全5種類／ランダム)

トリ(ブルー)／タヌキ／クマ(スピリットベア)／

トラ(ホワイト)／ゾウ：935円(税込)



©Misawa Atsuhiko ©KAIYODO

次回展予告

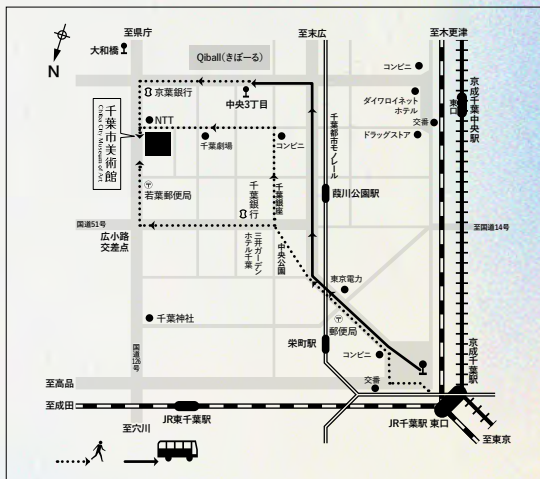
「new born 荒井良二 いつもしらないところへ たびするきぶんだった」

2023年10月4日(水)~12月17日(日)

「つくりかけラボ13

黒田菜月 | 鳥の名前を届ける (仮称)」

2023年10月28日(土)~2024年1月28日(日)



交通案内

JR千葉駅東口から

●徒歩約15分 ●バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分 ●千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩約5分

京成千葉中央駅東口から

●徒歩約10分

東京方面から車では

●京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

●地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで)。
●シェアサイクルスポットがあります。

千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8

Tel. 043-221-2311(代表)

<https://www.cma-net.jp>



※館内に新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。
※内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。